

市民アンケート（第2期）

1. 実施概要

(1) 実施期間

平成20年6月21日～11月2日

(2) 対象・回収数等

団体等の集会、イベントなどの参加者（集会等の数：61回 回収数：2,831人）

(3) 調査項目

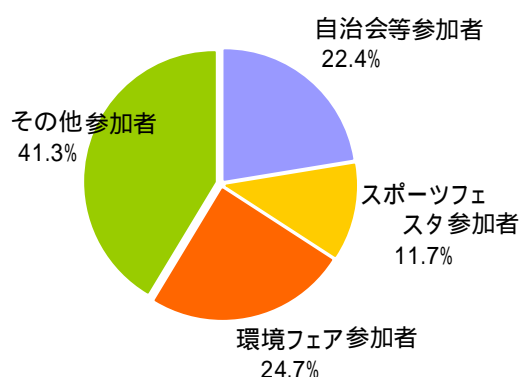
- ・市民が特に必要と感じる施策 29項目
- ・総計審諮問案の基本目標体系を考慮して、第1期市民アンケートの選択肢を整理、再編した。

2. 集計結果

(1) 回答者の属性

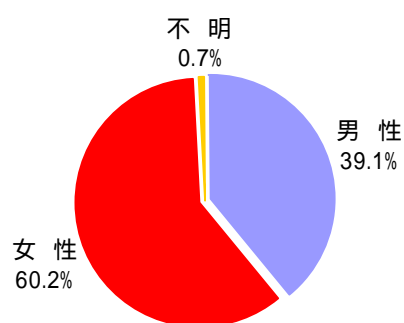
(会場別)

	回答数	割合
自治会等地域活動参加者	634	22.4%
スポーツフェスタ参加者	330	11.7%
環境フェア参加者	699	24.7%
その他イベント・集会参加者	1,168	41.3%
合計	2,831	100.0%



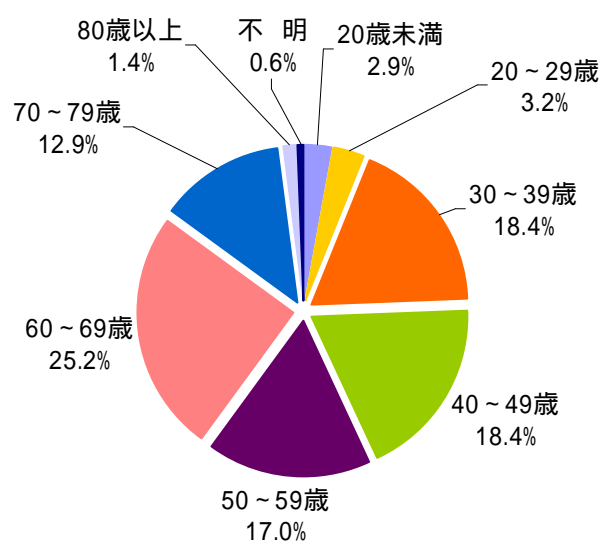
(性別)

	回答数	割合
男性	1,107	39.1%
女性	1,704	60.2%
不明	20	0.7%
合計	2,831	100.0%

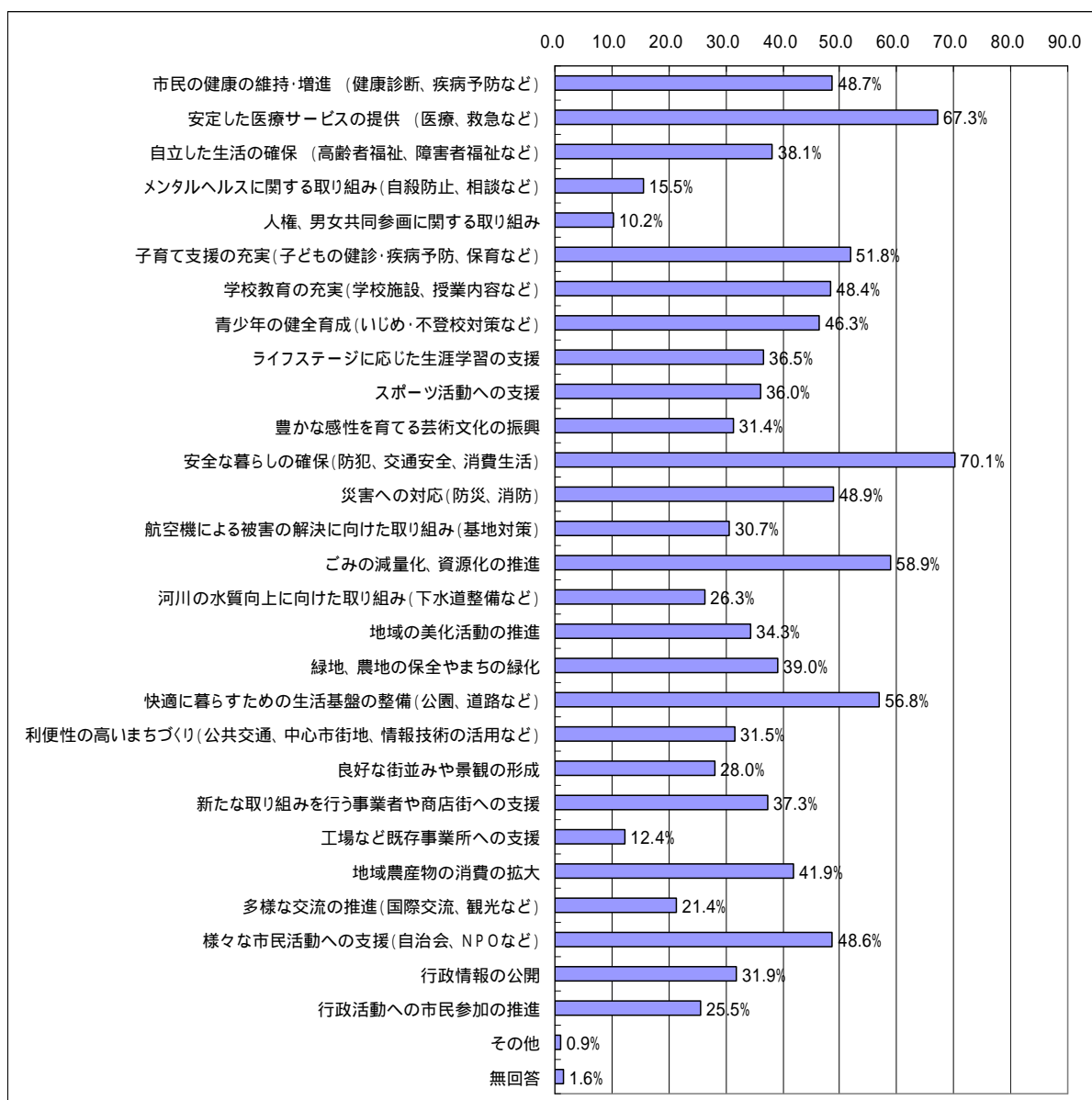


(年齢別)

	回答数	割合
20歳未満	82	2.9%
20～29歳	90	3.2%
30～39歳	522	18.4%
40～49歳	522	18.4%
50～59歳	480	17.0%
60～69歳	712	25.2%
70～79歳	366	12.9%
80歳以上	39	1.4%
不明	18	0.6%
合計	2,831	100.0%



(2) 全体集計 (複数回答・単純集計)



- ・市民が特に必要と感じる施策として、最も回答割合が高かったのは「安全な暮らしの確保 (70.1%)」で、次いで「安定した医療サービスの提供 (67.3%)」であった。
- ・第1期の市民アンケートでは、1位が「安定した医療」、2位が「安全な暮らし」という結果で、今回は順位が逆転しているが、これは、最近の凶悪犯罪や子どもを狙った犯罪、汚染米の不正転売などがメディアで詳しく報じられたことが影響したものと思われる。
- ・全体的には、アンケートから読み取れる市民ニーズは、第1期市民アンケートの傾向や市民意識調査の結果と大きく変わらないと思われる。

(3) 会場別集計

自治会等地域活動参加者

(性別)

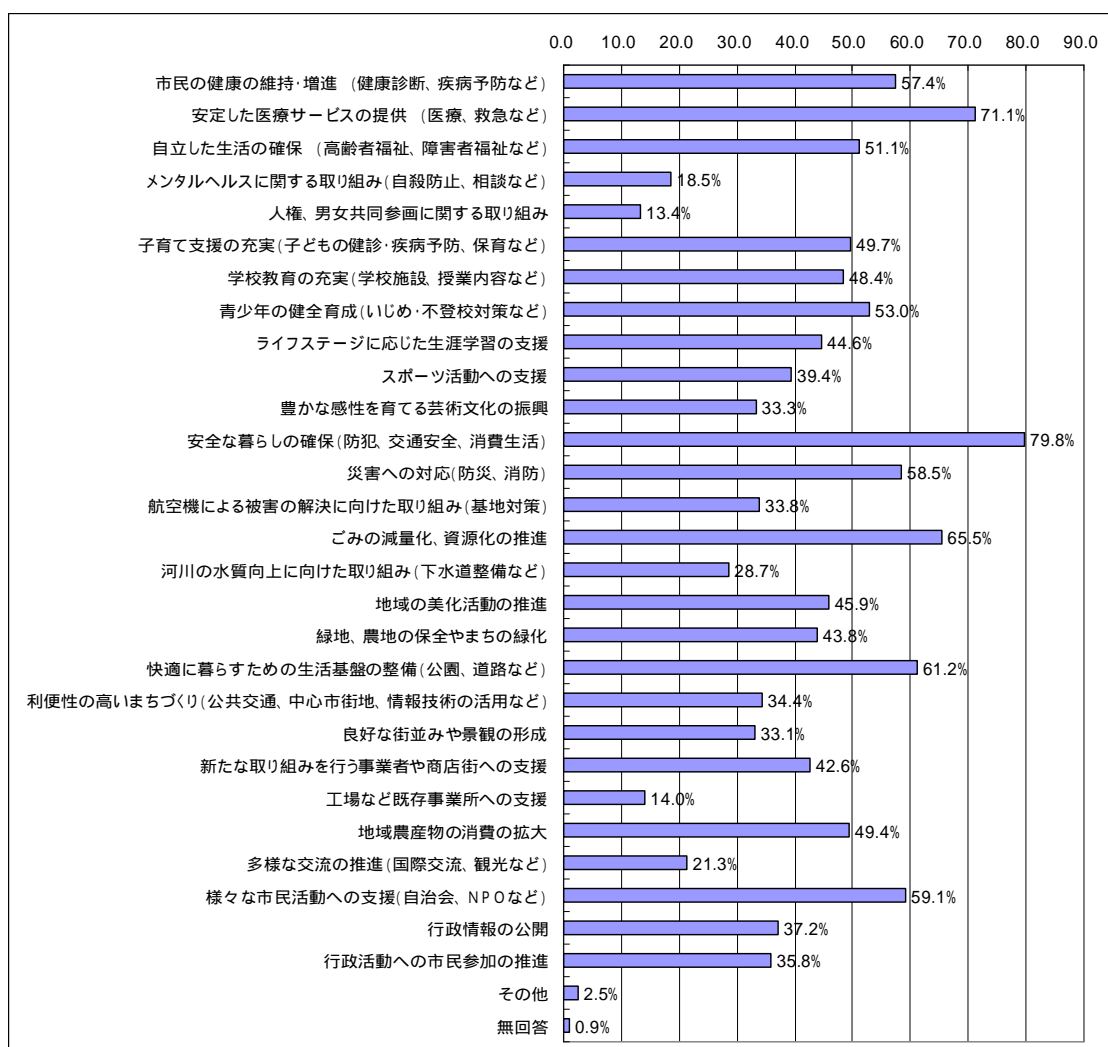
	回答数	割合
男性	416	65.6%
女性	213	33.6%
不明	5	0.8%
合計	634	100.0%

(年齢別)

	回答数	割合
20歳未満	17	2.7%
20～29歳	3	0.5%
30～39歳	44	6.9%
40～49歳	51	8.0%
50～59歳	87	13.7%
60～69歳	255	40.2%
70～79歳	157	24.8%
80歳以上	15	2.4%
不明	5	0.8%
合計	634	100.0%

- ・回答者の性別は、男性がやや多く、人数で見ると200人程度の差がみられた。
- ・年齢構成としては、60歳以上の市民が全体の7割近くを占めている。
- ・1位は「安全な暮らしの確保(79.8%)」、2位は「安定した医療サービスの提供(71.1%)」となっており、全体の回答結果と大きな偏りはみられなかった。

(集計結果：複数回答・単純集計)



スポーツフェスタ参加者

(性別)

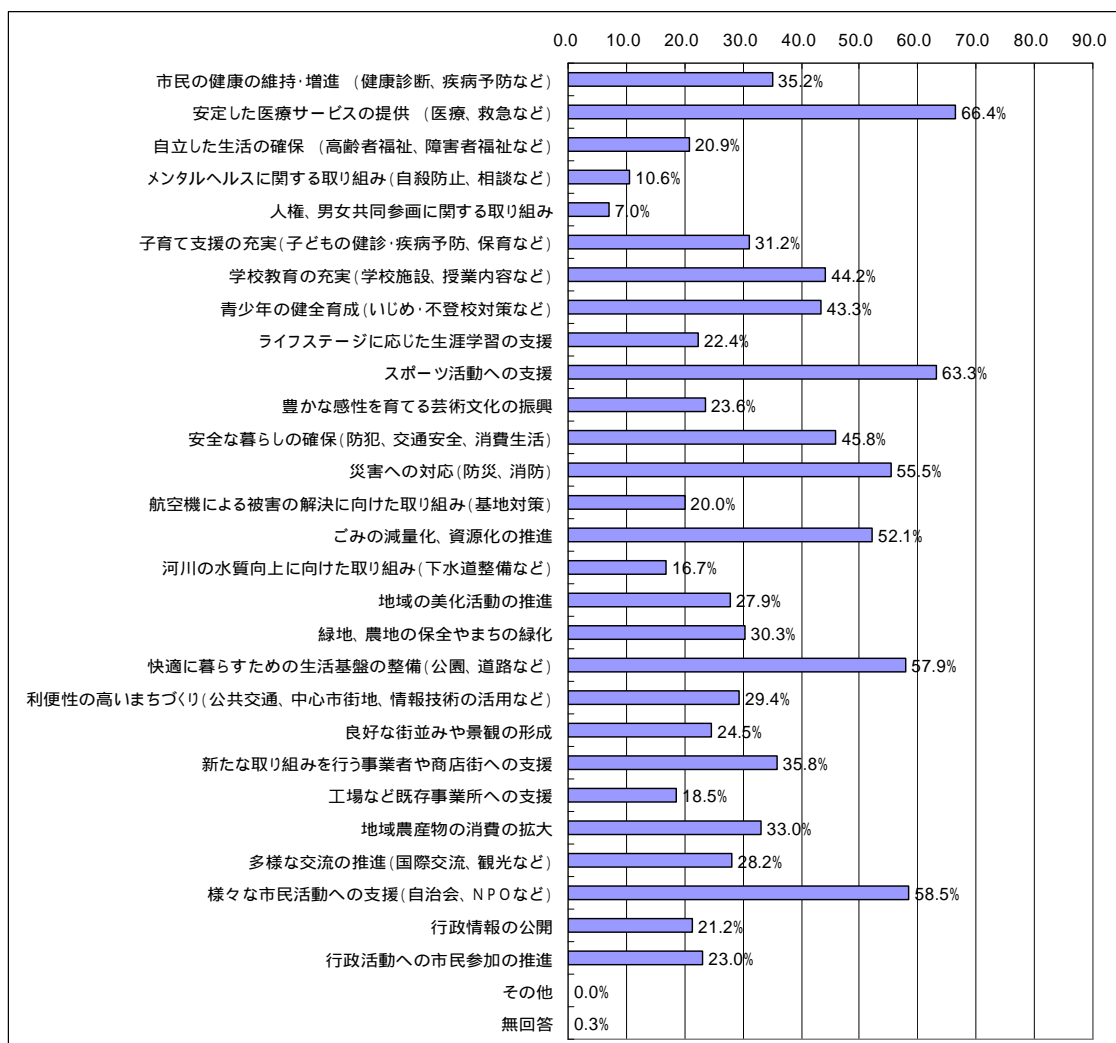
	回答数	割合
男性	176	53.3%
女性	154	46.7%
不明	0	0.0%
合計	330	100.0%

(年齢別)

	回答数	割合
20歳未満	3	0.9%
20～29歳	8	2.4%
30～39歳	48	14.5%
40～49歳	70	21.2%
50～59歳	96	29.1%
60～69歳	71	21.5%
70～79歳	30	9.1%
80歳以上	2	0.6%
不明	2	0.6%
合計	330	100.0%

- ・年齢構成としては、60歳未満の市民が全体の7割近くを占めている。
- ・1位は「安定した医療サービスの提供(66.4%)」、2位「スポーツ活動の支援(63.3%)」、3位「様々な市民活動への支援(58.5%)」の順になっていることがわかった。
- ・「様々な市民活動への支援」が上位となったのはスポーツ振興団体に対する支援の充実が求められているのではないかと推測される。

(集計結果：複数回答・単純集計)



環境フェア参加者

(性別)

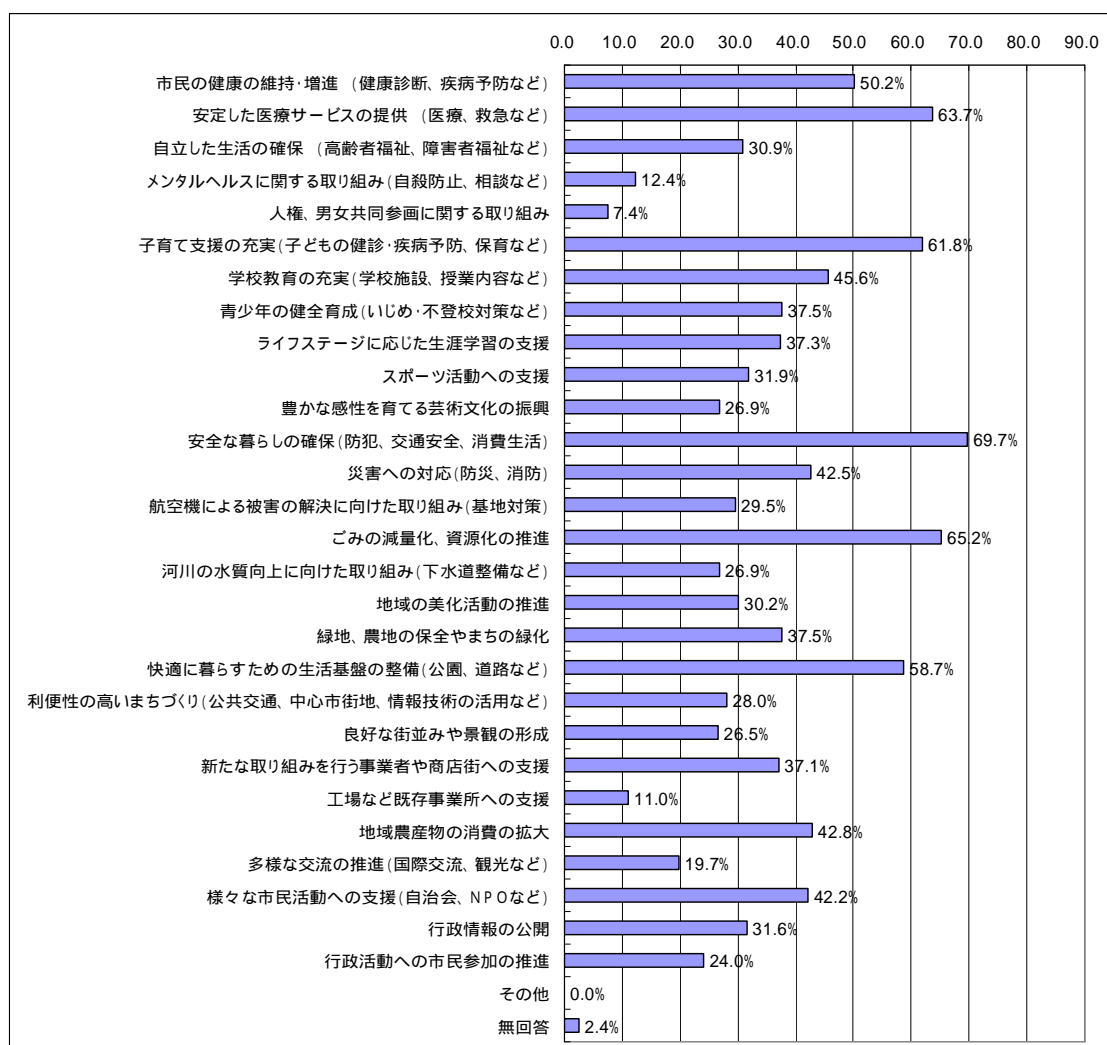
	回答数	割合
男性	171	24.5%
女性	517	74.0%
不明	11	1.6%
合計	699	100.0%

(年齢別)

	回答数	割合
20歳未満	39	5.6%
20～29歳	34	4.9%
30～39歳	196	28.0%
40～49歳	157	22.5%
50～59歳	90	12.9%
60～69歳	131	18.7%
70～79歳	43	6.2%
80歳以上	5	0.7%
不明	4	0.6%
合計	699	100.0%

- ・女性が全体の7割以上を占めている。
- ・環境フェアでは、「ごみの減量化、資源化(65.2%)」が2位となった。(1位は「安全な暮らし」、3位が「安定した医療」)
- ・ごみに関する施策はどの集計結果をみても、市民の期待感が強い施策の一つとなっているが、安定した医療サービスよりも上位となったのは、環境イベントの中でアンケートを実施したことが大きく影響しているものと推測される。

(集計結果：複数回答・単純集計)



その他イベント・集会等の参加者（施設めぐり、道の日イベント、教育フォーラムなどの参加者）

（性別）

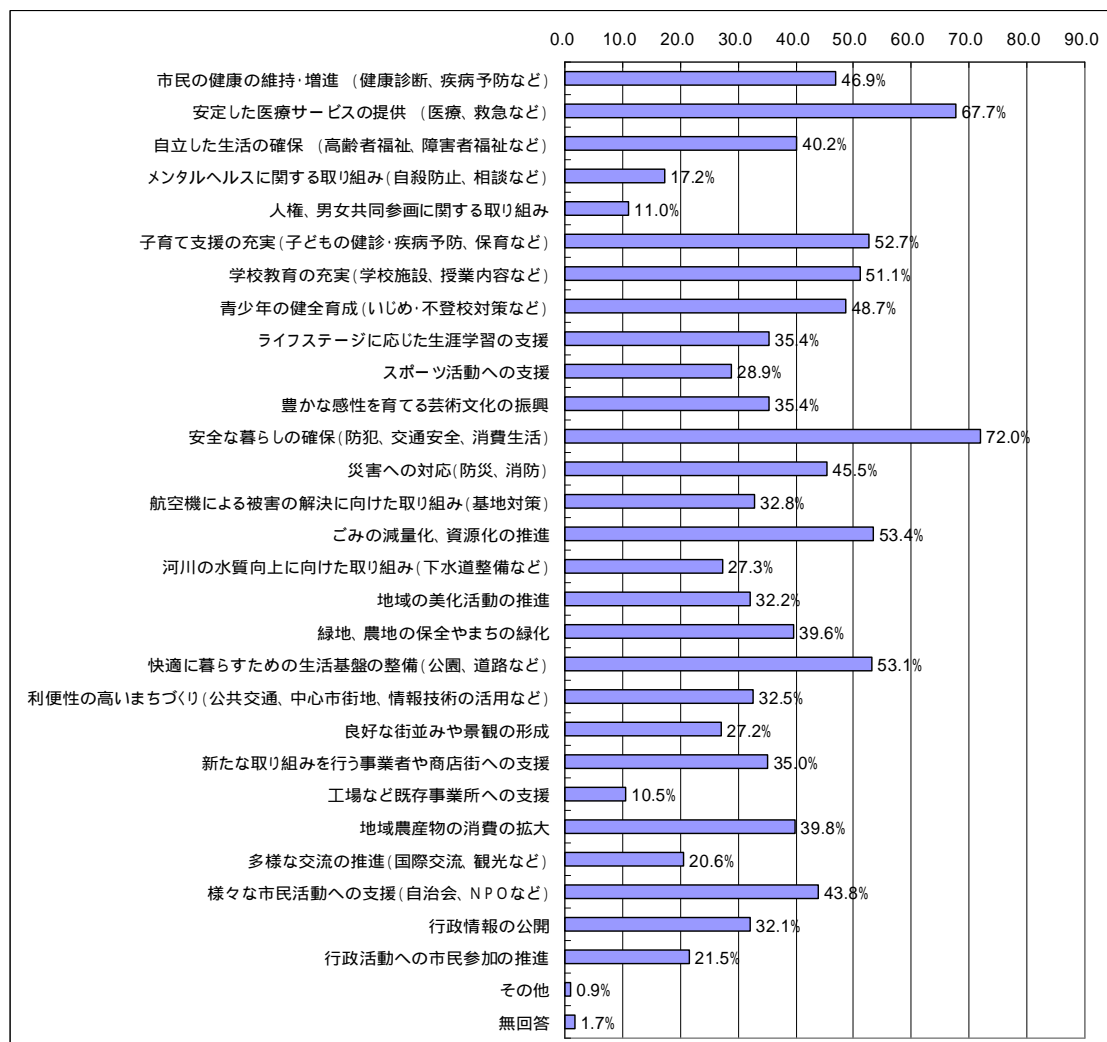
	回答数	割合
男性	344	29.5%
女性	820	70.2%
不明	4	0.3%
合計	1,168	100.0%

（年齢別）

	回答数	割合
20歳未満	23	2.0%
20～29歳	45	3.9%
30～39歳	234	20.0%
40～49歳	244	20.9%
50～59歳	207	17.7%
60～69歳	255	21.8%
70～79歳	136	11.6%
80歳以上	17	1.5%
不明	7	0.6%
合計	1,168	100.0%

- ・女性が全体の7割を占めている。
- ・1位は「安全な暮らしの確保（72.0%）」、次いで「安定した医療サービスの提供（67.7%）」、「ごみの減量化、資源化（53.4%）」、「快適な生活基盤（53.1%）」、「子育て支援の充実（52.7%）」の順となった。
- ・上位となった施策は全体の集計結果と同じ順位となっている。

（集計結果：複数回答・単純集計）



会場別順位

	施策分野	全体	自治会	スポーツ フェスタ	環境 フェア	その他
1	市民の健康の維持・増進（健康診断、疾病予防など）	7位	7位	11位	6位	8位
2	安定した医療サービスの提供（医療、救急など）	2位	2位	1位	3位	2位
3	自立した生活の確保（高齢者福祉、障害者福祉など）	13位	9位	23位	17位	11位
4	メンタルヘルスに関する取り組み（自殺防止、相談など）	26位	26位	27位	26位	26位
5	人権、男女共同参画に関する取り組み	28位	28位	28位	28位	27位
6	子育て支援の充実（子どもの健診・疾病予防、保育など）	5位	10位	13位	4位	5位
7	学校教育の充実（学校施設、授業内容など）	9位	12位	8位	7位	6位
8	青少年の健全育成（いじめ・不登校対策など）	10位	8位	9位	11位	7位
9	ライフステージに応じた生涯学習の支援	15位	14位	21位	13位	14位
10	スポーツ活動への支援	16位	17位	2位	15位	21位
11	豊かな感性を育てる芸術文化の振興	20位	22位	19位	21位	15位
12	安全な暮らしの確保（防犯、交通安全、消費生活）	1位	1位	7位	1位	1位
13	災害への対応（防災、消防）	6位	6位	5位	9位	9位
14	航空機による被害の解決に向けた取り組み（基地対策）	21位	21位	24位	19位	17位
15	ごみの減量化、資源化の推進	3位	3位	6位	2位	3位
16	河川の水質向上に向けた取り組み（下水道整備など）	23位	24位	26位	22位	22位
17	地域の美化活動の推進	17位	13位	17位	18位	19位
18	緑地、農地の保全やまちの緑化	12位	15位	14位	12位	13位
19	快適に暮らすための生活基盤の整備（公園、道路など）	4位	4位	4位	5位	4位
20	利便性の高いまちづくり（公共交通、情報技術の活用など）	19位	20位	15位	20位	18位
21	良好な街並みや景観の形成	22位	23位	18位	23位	23位
22	新たな取り組みを行う事業者や商店街への支援	14位	16位	10位	14位	16位
23	工場など既存事業所への支援	27位	27位	25位	27位	28位
24	地域農産物の消費の拡大	11位	11位	12位	8位	12位
25	多様な交流の推進（国際交流、観光など）	25位	25位	16位	25位	25位
26	様々な市民活動への支援（自治会、NPOなど）	8位	5位	3位	10位	10位
27	行政情報の公開	18位	18位	22位	16位	20位
28	行政活動への市民参加の推進	24位	19位	20位	24位	24位
29	その他	29位	29位	29位	29位	29位

(4) 自由意見数と主な意見(延べ意見数 576件)

心身の健康や医療、介護予防、高齢者や障害者等の福祉に関する意見(117件)

<主な意見>

- ・健康に暮らしていくためには予防が大切。そのためには健康診断の充実が必要である。
- ・心の問題を大切にしたい「人づくり」が喫緊の課題である。
- ・引きこもり(若年層)対策と自殺防止対策を充実してほしい。
- ・安定した医療サービスを強く希望する。
- ・市立病院の充実、医師の確保を是非お願いしたい。
- ・小児・救急医療に力を入れてほしい。
- ・障害者への支援、施設の充実、情報の公開を明確にしてほしい。
- ・高齢者、低所得者、身体の不自由な方が安心して暮らせる活動、支援等を考えてもらいたい。
- ・市民マナーの向上を望む。

教育、子育て支援、子どもの疾病予防、青少年の健全育成等に関する意見(74件)

<主な意見>

- ・いじめ、不登校問題が多いので、いじめ対策をして欲しい。
- ・子育て支援、働く母親のサポートを見直して欲しい。保育料もひとり親にはかなりの負担になっている。
- ・保育園を増やして欲しい。
- ・夏休み中のスポーツや工作教室など子どもと参加できる催しをもっと増やしてほしい。
- ・小学生への家庭教育の充実。(礼儀、言葉使いなど)
- ・学校内だけでなく放課後など学校外でも教師は携わって欲しい。地域社会との連携強化を。

生涯学習、スポーツ活動や芸術・文化に関する意見(37件)

<主な意見>

- ・文化・健康・スポーツ施設の充実。(高齢化にも対応)
- ・多目的ホール、児童館を作って、誰でも参加できる文化的な交流の場をつくってほしい。
- ・芸術文化も良いが「箱もの」にならないように、近隣にいくらでもあるのでそこを利用する検討もしてほしい。

防災や防犯、交通安全など、まちの安全、安心に関する意見(52件)

<主な意見>

- ・市民一人ひとりが安心して暮らせる様に街灯を増やしてほしい。
- ・交番が少ないので増やして欲しい。
- ・オレオレ詐欺とか高齢者をフォローする体制を強化してほしい。
- ・食の安全を確保してほしい。
- ・要援護者支援の充実するために自主防災組織の充実をお願いしたい。
- ・防災スピーカーの音声聞き取りづらい。必要な情報が聞き取れるか不安である。
- ・航空機がいつ墜落するかわからない恐怖を感じる。

緑地の保全やごみ対策など、環境問題に関する意見（55件）

<主な意見>

- ・ごみ袋の値段をもう少し安くしてほしい。
- ・ごみ袋値下げ反対、収益を市の環境事業にまわしてほしい。
- ・ポイ捨て禁止条例もたばこと同様制定してほしい。
- ・ゴミの有料化について、プラを再利用しないのは納得できない。
- ・子どもたちの世代に緑がたくさん残るように緑化など環境問題に力を入れてほしい。

経済活動の振興や就労環境の整備、様々な交流への支援に関する意見（9件）

<主な意見>

- ・産業政策が表面的なものにしか見えない。

公園や道路などの住環境の整備、街並み形成に関する意見（78件）

<主な意見>

- ・子どもが安心して遊べる公園を増やしてほしい。
- ・公共施設の集約を行い、市の中心（核）の形成を行ってほしい。
- ・マンション建設に歯止めをかけてほしい。
- ・大和駅近の駐車場整備、路上駐車防止に力を入れて欲しい。
- ・コミュニティバスの拡大を希望する。
- ・道路の幅と車の交差点など危険箇所が多い。
- ・自転車道、歩道を整備してほしい。

地域活動への支援や開かれた行政運営に関すること（131件）

<主な意見>

- ・自治会も高齢化しており、従来のように自治会に依存しない方法も検討すべきである。
- ・全世帯の自治会への加入と市民活動への参加を積極的に進めてほしい。
- ・自治する市民を育てる街こそが、健康都市の創造の近道と考える。
- ・全体での予算の無駄を見直し、限られた予算を有効活用していただきたい。
- ・総合計画に具体的な財政計画と整合を図り、示す必要があると考える。
- ・市民と行政がもっと歩み続けられる市政運営に力をそそいだ総合計画を期待する。
- ・市民一人ひとりの意見が通じるような取り組みをして欲しい。
- ・総合計画は、市民の目線でまとめて欲しい。
- ・各種団体への補助金等の見直しが必要ではないか。
- ・市役所職員の窓口を徹底して指導していただきたい。

その他（23件）

<主な意見>

- ・大和市として自立していける市民生活の安定を目指してほしい。